

内部監査体制の構築から年次計画の グランドデザインまで

—経営を支える内部監査を具体化する活動プロセスの設定—

第一期「経営監査塾」〔第2回開催分（全8回開催）〕

- 日 時 ● 2015年10月20日（火）14:00～17:00
- 会 場 ● 東京・飯田橋『日本出版クラブ会館』
- 講 師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

大手監査法人における約20年の会計監査への従事と10数年にわたる内部監査（実施支援、コンサル、品質評価等）、内部統制、不正調査、リスク管理等のアドバイザー業務の経験を経て、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任。現在、ABボロボのコーポレートオーディット日本担当ダイレクターおよびUDトラックス株式会社監査役として監査実務に従事。一方で内部監査関連の執筆や講演活動にも従事、豊富な実務経験をベースに具体的事例を交えた実践的でわかり易い語り口で好評。最近の著書「内部監査の課題解決法20」税務経理協会、論文「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」一般社団法人日本内部監査協会「月刊監査研究」2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載。公認会計士、公認内部監査人、米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

● 講演／内部監査体制の構築から年次計画のグランドデザインまで <14:00—16:00>

経営監査の実効性を上げるには監査の技術や方法論などテクニカルな面だけでなく、むしろその成否を決める監査業務のマネジメントに留意すべきでしょう。とりわけ経営に貢献する内部監査体制の構築にはそれを支える具体的なPDCAサイクルを設定して経営層からの見える化を図ることが重要です。そこでは監査の方法や技術論よりもまず監査ジョブのマネジメント能力が問題となります。またそれを経営層のステークホルダーの意向に合わせて年次のリスク評価や監査計画につなげる際には、それぞれの活動における技術ノウハウとそれを支えるインフラとともに経営の期待に整合した形で監査をデザインするプロジェクト管理能力が必要となります。これら一連のグランドデザインの検討が今回のテーマです。

1. 経営者志向の内部監査の管理プロセスの構築 —押さえるべきポイント

—内部監査業務の管理のためのPDCA、参考となるIIAプラクティスガイドやガバナンス文書の活用

2. 年次リスク評価と監査計画へのつなぎ方 —どこにベクトルを合わせて何をどこまでやるか

—リスク評価と計画のアプローチとその前提として必要なインフラ(手法、プロセス、書式等)

3. 監査パターン(経営監査、業務監査等)と年次計画のグランドデザイン

—監査対応パターンのモデル化とグループ組織への展開手法

● 講演をベースとした（グループ）ディスカッション&総括コメント <16:00—17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料を含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。
※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社）企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麴町5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

150188	2015 10/20 経営監査塾		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	